

俳句の鑑賞に挑戦

名前：

季語から情景を広げる

問1 季語を抜き出さない。
「秋の雨／ベンチに残る／赤い傘」

解答：秋の雨

補足：季節が明示された季語。

問2 句から読み取れる情景の一つを選び、記号を○で囲みなさい。
「秋の雨／ベンチに残る／赤い傘」から直接読み取れるものはどれですか。 ア 雨の中のベンチに赤い傘が残っている イ 子どもが赤い傘を差して走っている ウ 晴れた公園で傘を干している

解答：ア

補足：句に書かれている事実だけで判断する。

表現の効果を考える

問3 最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。
「秋の雨／ベンチに残る／赤い傘」で「赤い」と色を示す効果として最も適切なものはどれですか。 ア 雨の情景の中で傘の色をはっきり印象づける イ 季節を夏に変える ウ 傘の音を強く聞かせる

解答：ア

補足：色彩を示す語が視覚的な印象を強めている。

問4 「秋の雨」「ベンチ」「赤い傘」を使って情景を簡潔に説明しなさい。
「秋の雨／ベンチに残る／赤い傘」

解答：秋の雨の中で、ベンチに赤い傘が残っている情景。

補足：「秋の雨」「ベンチ」「赤い傘」の三要素が含まれていれば可。持ち主など句にない事情の断定は不要。

情景と心情を結び付ける

問5 切れ字を抜き出さない。
「朝霧や／校庭わたる／笛の声」

解答：や

補足：上五の終わりにある「や」が切れ字。

問6 「や」の働きとして最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。
「朝霧や／校庭わたる／笛の声」の「や」は何を印象づけていますか。 ア 朝霧の情景 イ 笛を吹く人の名前 ウ 校庭の広さ

解答：ア

補足：「や」によって直前の「朝霧」が強く印象づけられる。

ミニ鑑賞

問7 目と耳で感じ取れるものをそれぞれ答えなさい。
「朝霧や／校庭わたる／笛の声」

解答：目で感じ取れるものは朝霧、耳で感じ取れるものは笛の声

補足：「目＝朝霧」「耳＝笛の声」の対応が正しければ可。

問8 句全体の情景を四十字程度で説明しなさい。
「朝霧や／校庭わたる／笛の声」

解答：朝霧に包まれた校庭を笛の音が響き渡り、目に映る霧と耳に届く音が印象的な情景。

補足：「朝霧に包まれた校庭」と「笛の音が校庭をわたる様子」の二要素を含めれば可。笛を吹く人物や場所を根拠なく断定しない。